

# 池谷 雅之

Masayuki Iketani

郷土のシュールに寄せて  
監修 池谷雅之

本企画は令和4年度浜松市創造都市推進事業であり、第4回浜松 Open Art 関連事業でもある。

この度 鴨江ヴァンダーカンマー企画、遠州ディスカバリー「郷土のシュール」展を開催し、作家を公募、展示するにあたり、その基準を定めることにした。シュールと言ってもその表現の幅は広く、何でもありではダメ。

表現方法やテーマは自由だが、その中に鴨ヴァンテイストが含まれていること。そのテイストとはエロティシズムやグロテスク、さらに毒が必要となる。

人生の痛み、苦しみ、悲しみ、そこから出発して喜びに昇華することは、SMに近いことを発見した。

そんな遠州のシュール作家15人が集結して作品が寄せられ、エネルギーの大きさとパワーの強さは、鴨ヴァンの歴代企画展の中でも秀逸の展示となった。

また幾つかのイベントも行い展示に花を添え、連日パワフルで活気あふれる23日間であった。今後もマイノリティの重要性を常に意識して、西川昌宏館長と連携して内容を吟味しつつ発信を続けて行きたい。

静岡県西の片隅で、ぬるま湯芸術が多い中、鴨ヴァンの活動が常識を覆し、人々の目を覚ますような起爆剤となり、エポックメイキングになることを望んでいる。

## 池谷雅之 略歴

1954年 静岡県浜松市生まれ

1979年 愛知県立芸術大学美術学部彫刻専攻卒

浜松市美術展芸術祭受賞2回

静岡県芸術祭受賞3回

二紀展奨励賞、同人賞受賞

1997年～2003年

財団法人静岡県舞台芸術センターにて舞台監督、舞台美術等の仕事に従事する。

元 二紀会静岡支部長

現 日本美術家連盟会員

現 浜松 OPEN ART 代表

現 鴨江ヴァンダーカンマー エグゼクティブアートディレクター





ギャラリー企画多数



施設へのアート 装飾・襖絵 2020



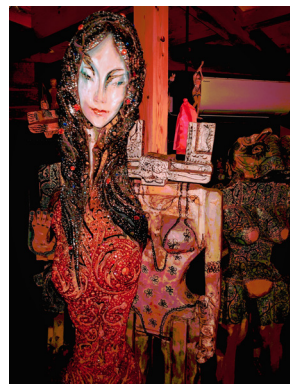
ギャラリー常設コーナー 2020～



体験型アート・背景と髑髏面



ボディペイント下絵 2021  
ライブイベントの為の打合せ用



新設アネックス 2022  
等身大以上の作品群を収蔵



赤い花 木彫・石膏